

	家族や地域の支援力の活用と強化	
--	-----------------	--

担当講師名

沖縄県介護福祉士会

理事 桑江 貴英

研修領域	実施期日	会 場
連携領域	令和 8 年 3 月 7 日（土）	沖縄県総合福祉センター東棟 5 階 504 教室

到達目標

- ① 利用者や家族の双方の想いや葛藤を理解し、適切な対応ができるようにする。利用者や家族の潜在的な希望や意欲を引き出せるようにする。
- ② 利用者が豊かに生活するうえでの友人・知人・ボランティアなどの大切さ、意義を理解し、活用できるようにする。
- ③ 相談援助技術等、ソーシャルワークの技術を活用したかかわりや働きかけを行うことができるようにする。

修了時の評価ポイント

- ① 利用者や家族が自らの想いに気づかない、言葉にできないこと、また、それらをどのように引き出すことが可能かについて、事例に基づいて具体的に説明できる。
- ② 介護の現場において、相談援助技術やソーシャルワーク技術をどのように活用できるかについて、事例に基づいて具体的に説明できる。

テキスト・使用教材等

- ・事前課題ワークシート
- ・当日配布資料、ワークシート
- ・DVD「沖縄フリーゾーン・島で老いを支えたい～渡名喜島・介護ヘルパーの日々～」
- ・YouTube「魔法のチケット」「お父さんは愛の人」
- ・「ご近所づくり助け合いカード」さわやか福祉財団

<参考図書>

岩間暁子「問いからはじめる家族社会学 -- 多様化する家族の包摂に向けて」2015 有斐閣

森岡清志「社会学入門」2018 放送大学教材

新・社会福祉士養成講座 3「社会理論と社会システム第 3 版」2015 中央法規

自職場等課題

【事前課題のねらい】

実際の人物を想定し、その人物の心理・社会的（内的）世界や家族、地域社会とのかかわりなどに広く視野を広げて情報を整理することで、人の生活の全体性を理解し、介護計画の策定・評価など、その支援への展開方法を理解する。

【事前課題の内容】

サービス利用者（適当な事例がない場合は、自分自身・自分自身の家族・著名人などでもよい）を一名特定し、その人物についてワークシートをもとに多面的な視点から記述してみる。ワークシート（様式 1）

【事後課題のねらい】

・利用者や家族が自らの想いに気づかない、言葉にできないこと、また、それらをどのように引き出すことが可能かについて、事例に基づいて具体的に説明できる。

・介護の現場において、相談援助技術やソーシャルワーク技術をどのように活用できるかについて、事例に基づいて具体的に説明できる。

【事後課題の内容】

日常の支援や業務の場面の事例を使って、『家族や地域の支援力をどのように引き出し活用したり、強化したりすることができるか』、今回の研修で学んだ内容を参考にまとめる（文字数 1,000 文字程度）。